

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書様式】

(モデル校名 竹原市立吉名中学校)

○学校の概要(平成15年4月現在)

竹原市立吉名中学校						
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	4学級	13名
生徒数	25	29	31	2	87名	

- 本年度当初、学校が抱えていた「総合的な学習の時間」の課題

 - ・「総合的な学習の時間」に対する、研修及び推進体制に明確さを欠くところがあった。
 - ・各学年を中心に「総合的な学習の時間」で取り組む活動内容は設定したが、ねらいや付けたい力、教科との関連などが十分に明確化されていなかった。
- モデル地域としての研究主題を、学校でどのように受け止め、どのような目標設定をしたか

 - ・学力テストの結果の分析や児童生徒の実態から、「思考力・表現力」に課題があることが明確になった。各教科で「論理的思考力」と「豊かな表現力」を育成するためのたてを明確にしなが、
「総合的な学習の時間」に教科で学んだこのような力を総動員して取り組む学習内容の研究を進めた。
 - ・小・中・高の系統生を明らかにした「総合的な学習の時間」の内容や教科との関連生、培いたい力等を発達段階に応じて設定した。
- 平成15年度の各校の取り組み内容と、その結果どのような成果と課題が見られたか(データを示して)

 - ・1学年では、小学校の学習を受けて身近な地域を題材に疑問を持たせ、聞き取りや専門家の説明等の実感を伴った活動を全体で取り組むよう仕組んでいった。2学年は、グループの活動を中心に、3学年では、個人の活動へと段階的に生徒が主体的に取り組むようにしていった。
 - ・各教科で培いたい「論理的思考力・豊かな表現力」の到達目標を明確にすることによって、教師はどのような力や学びが、相互にどう関わっているかを意識して指導することができた。
 - ・培いたい力のうち、本校生徒が苦手とする「論理的思考力・豊かな表現力」に絞って、小・中・高で研究を進め実践していった。教師が意識して、話し合い、発表や報告の場を設定することによって、生徒も生活の中で積極的に自分の意思を表わす場が増えていった。
 - ・学習段階に沿った自己表カルテ等の導入や、各学年や小・中・高の発達に合わせた評価活動を明確にし、生徒が自己の活動を振り返って成長がわかるような手だてをしていかなければならない。
- 本年度の課題を踏まえて、平成16年度どのような取り組みを行う予定か(全体計画の見直しの視点について)

 - ・小・中・高の進めている、「総合的な学習の時間」と教科との関連を明らかにした取組みを更に推し進め、総合的な学習の時間を系統的に行うことによって、教科の力を更に伸ばしていく。
 - ・縦割りによる学習を仕組み、上級生が指導できる場を意図的に設定していく。また、単元によっては小学生・高校生との活動を位置付けて、積極的に取組みを進め、それぞれの校種間の連携を滑らかにしていく。

1 教育目標

「豊かな感性と判断力をもってねばり強くやりきる生徒の育成」

＜保護者・地域の願い＞

- ・思いやりをもった素直でやさしい子どもの育成
- ・一人一人が大切にされる学校
- ・発表等で堂々と自分の意見が言える生徒の育成
- ・何事も最後までやりきる生徒の育成
- ・生徒が生き生きと学習する授業づくり

＜生徒の実態＞

- ・素朴で相手の気持ちを分かろうとする。
- ・友を大切にしようとする。
- ・挨拶や掃除をきちんとしようとする。
- ・自分の考えをもって行動したり、自分の考えを積極的に表現することが不得意である。
- ・人の話を最後まで集中して聞き取ることが苦手である。
- ・学力テストでは県や全国の平均的な学力である。

2 総合的な学習の時間の目標

「自然の一員としての人間，地域社会の一員としての自分の生き方を考えるとともに，ふるさと吉名のよさを感じ，たくましく生きていくことのできる生徒の育成」

3 学年目標

1 学年	2 学年	3 学年
<ul style="list-style-type: none"> ・地域をテーマとして，自分の課題を設定し，自分に合った方法を見つけ，段階的に課題解決にむけ探究することができる。 ・自分の考えや意見を順序良くまとめ発表することができる。 ・地域の自然や文化，生活に積極的に興味関心を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と自分の考えを整理することを通して課題を設定し，自分の考えに基づく疑問を深く掘り下げ，多面的に課題解決に向け探求することができる。 ・自分の思いや考えを筋道立ててまとめ，わかりやすく発表することができる。 ・地域の歴史，伝統，文化生活に関心を持ち，そのよさに気づくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな情報をつかみ，整理して，テーマに沿った課題を設定し，いろいろな視点から情報を取捨選択し，自分のテーマと関連付けて課題解決に向けて探究することができる。 ・課題ごとにまとめたものを自分の考えや意見をもとに発表することができる。 ・地域を支える人々の動きや活動の様子を知り，地域社会の現状や問題点を探ることができる。

4 育てたい力

	1 年	2 年	3 年
論理的思考力	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿って，自分の課題を設定することができる。 ・自分に合った方法を選び，設定した課題を段階的に探ることができる。 ・自分の考え，意見を順序良くまとめ，発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と自分の考えを整理して課題を設定することができる。 ・自分の考えに基づく疑問を，深く掘り下げ，多面的に探ることができる。 ・自分の思いや考えを筋道立ててまとめ，発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報からテーマに沿った課題を設定することができる。 ・様々な視点から情報を取捨選択し，自分のテーマと関連づけて探ることができる。 ・課題ごとにまとめたものを，自分の考えや意見を下に発表することができる。

豊かな表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを盛り込んで、課題を設定することができる。 ・自分の考えを、自分のことばで示しながら論議することができる。 ・自分の言葉で、相手にわかりやすく工夫して表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な考えや情報の中から、自分の考えを盛り込んで課題を設定することができる。 ・色々な視点を示しながら、相違点や共通性がわかりやすいように論議することができる。 ・まとめの項目に沿って、様々な考えを盛り込んで表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を的確に捉え、自分の生き方を盛り込んで課題を設定することができる。 ・積極的に意見交換しながら、根拠を示して論議することができる。 ・発表の方法を工夫し、根拠を示して表現することができる。
情報活用力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識を持って、自分に必要な情報を選択して収集することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な情報源を用いて、多くの情報の中から自分の目的に応じた適切な情報を選択・収集することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題解決のために適切な情報を選択収集し、自分の生活に活用することができる。

5 教科等との関連

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉表現、文章表現、聞き取り方法、討論等の方法などの活用
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や情報を整理する力、比較し考察する力、資料を分析する力の活用
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・順序だてて論理的に考える力、他に説明・証明する力の活用
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・情報から仮説を立て、実験や観察、体験から検証する力の活用
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・他とのコミュニケーション能力の活用
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリング等他にわかりやすく伝達するための技術を活用
技術 家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの活用（情報検索や情報管理・パワーポイント、レポート等作成） ・調理の活用

(6) 総合的な学習の時間の単元系列

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	オリエンテーション「総合的な学習の時間」の目的・目標・学習の流れについて 全5時間	課題設定・課題発表・課題修正・課題追究の仕方について 全16時間		<p>「吉名の農業について」全41時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の農家・農協等への聞き取り調査 赤土についての調査 仮説をたて、ジャガイモの栽培計画を立案 畑作り・植え付け・観察・収穫・データ分析 発表方法の検討・中間発表 		<p>「吉名の自然と私」全21時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 前単元の学習から新たな発展的課題を設定 自分との関わりを見つめる中で追究 報告会 						
2年			<p>「介護・福祉について」全39時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護・福祉について調べ学習 町内の高齢者へ聞き取り調査 介護・福祉の体験 課題に沿って整理・分析 発表方法の検討・中間報告会 		<p>「吉名の働く人と私」全28時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の職業について発展的な課題を設定 地域の職場と連携し、自分の関わりを考える中で追究 プレゼンによる報告会 							
3年			<p>「地域への貢献について」全41時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 1・2学年の学習をもとに、地域について調べ学習(訪問・インタビュー・現地調査・資料収集等) 調査内容を県、日本、世界へと広げて整理・分析 発表方法の検討・中間報告会 		<p>「地域と私」全36時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめ、具体的な地域貢献について企画 関係機関と連携し取り組む 1年間のまとめ 報告会 3年間のまとめ(小論文) 							